

予算と事業

■一般会計当初予算は、

58億4,282万円を計上

■甲佐中学校校舎などの

建築事業に本格的に着手

本町の平成23年度予算が、町議会3月定例会で成立しました。今年度は、長引く景気後退の影響により、一般財源（町が自由に使えるお金）である町税が減収する見込みとなり、歳出面では、甲佐中学校校舎などの建築や町営住宅の建替えにかかる経費などの増加により、財源不足が生じました。

このような財政状況の中で、財政の健全を図り財源不足を解消するために、引き続き行財政改革を実施することで経費の削減を図りましたが、それでも不足する財源を補てんするため、財政調整基金（貯金）の取り崩しを行うことで予算編成を行いました。

ました。

また、今年度も前年度に引き続き、将来を見据えた町づくりを目指し、今後の人口増や町民の所得向上を図るために、「子育て支援を含む、定住促進事業および特産品開発事業」を再度重点事業枠として位置付けた上で、「中学3年生までを対象とした子ども医療費助成」、「保育料の軽減」、「紙おむつ用ごみ袋の配布」、「特産品開発委託事業」を実施します。

以上のことから、今年度の一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ58億4,281万9,000円となり、前年度対比で22.5割の増額となりました。

■平成23年度当初予算一覧

会計	項目		予算額	
一般会計	歳入		58億4,282万円	
	歳出		58億4,282万円	
特別会計	国民健康保険特別会計		16億5,812万円	
	介護保険特別会計		11億9,470万円	
	後期高齢者医療特別会計		1億3,287万円	
	住宅新築資金等貸付特別会計		17万円	
	計		29億8,586万円	
	上水道事業	収益的収入	事業収益	1億4,912万円
		および支出	事業支出	1億4,912万円
資本的収入		資本的収入	5,000万円	
および支出		資本的支出	1億501万円	

一般会計歳入総額
58億4,282万円

【歳入項目の説明】

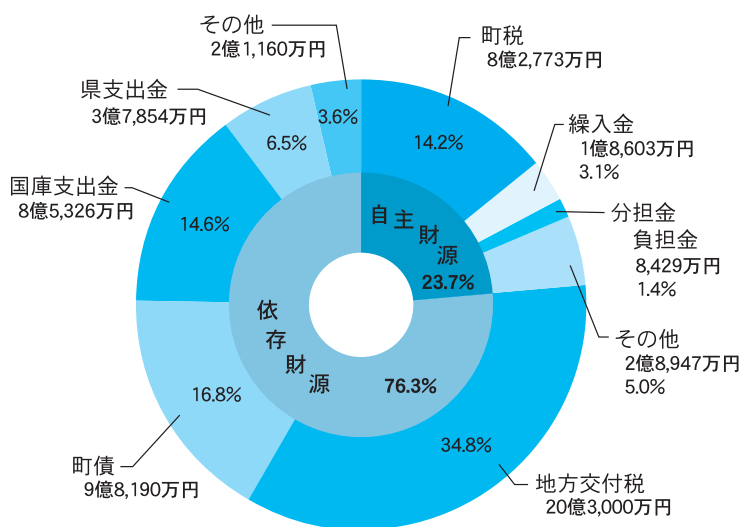
《自主財源》

- 町税 町民の皆さんに納めてもらった町民税や、会社の法人税など
- 繰入金 積み立てておいた基金（預金）を取り崩して受け入れたもの
- 分担金および負担金 町が行う特定の事業によって利益を受ける人から徴収されるもの
- その他 町の施設の使用料や証明書の発行手数料。預金利子や前年からの繰越金など

《依存財源》

- 地方交付税 どの市町村でも、ある一定の住民サービスが出来るように、それぞれの市町村の実情に応じて国から交付されるもの
- 町債 道路や小・中学校などの社会資本を整備するための借金
- 国庫支出金 事業を行うための国からの負担金や補助金
- 県支出金 事業を行うための県からの負担金や補助金
- その他 国から配分される地方譲与税やゴルフ場利用税などの各種交付金

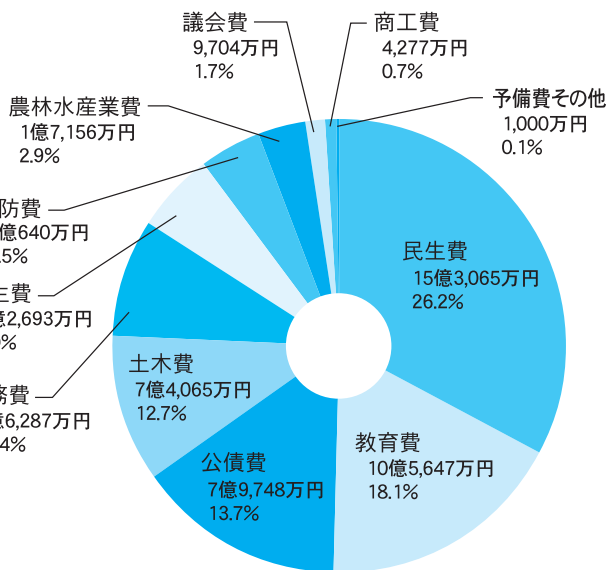
歳入



歳出

【歳出項目の説明】

- 民生費 高齢者福祉、児童福祉、または障がい者福祉など、町が行う福祉事業全般にかかる経費
- 教育費 小・中学校の義務教育にかかる経費や、公民館活動・保健体育活動などの社会教育にかかる経費
- 公債費 町の借金である町債を毎年返済するための経費
- 土木費 町道、河川維持や整備にかかる経費
- 総務費 町全体の運営に関する経費や、財産の管理にかかる経費
- 衛生費 町民の健康のための経費や、ごみ、し尿などの処理にかかる経費
- 消防費 消防組合・消防団の運営にかかる経費や、防災にかかる経費
- 農林水産業費 農林業振興のための経費や、農道などの維持や整備にかかる経費
- 議会費 町議会の開催や運営にかかる経費
- 商工費 商工業振興や観光対策にかかる経費
- 予備費・災害復旧費・諸支出金 風水害や台風による災害の復旧のための経費など



一般会計歳出総額

58億4,282万円